

視察（研修）報告書

令和5年5月25日

府中市議会議長 様

会派名又は 無所属
議 員 名 藤本秀範

日 時	令和5年5月22日(月) 令和5年5月23日(火)
研 修 先	全国市町村国際文化研修所(JIAM)
研 修 コ ー ス	令和5年度市町村議会議員研修(2日間コース)
研 修 タ イ ト ル	自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～
参 加 者	藤本秀範
研 修 内 容	●自治体決算の意義と審査のポイント 講師:武庫川女子大学 経営学部 教授 金崎健太郎氏 ●行政評価等を活用した決算審査 講師:静岡県立大学 経営情報学部 教授 小西 敦氏
所 感	今回の研修は、行政側が執行した予算を明らかにする決算審査について学んでまいりました。予算編成を見据えた決算審査は、「行政評価や地方公会計によるバランスシート等の財務書類」を活用することが基本とされています。また、行政評価の手法を活用して事務事業の改善ポイントを検討して予算審議に反映させる方法も学ぶことが出来ました。自治体決算指標の意義と各指標を用いた自治体収支の捉えるポイントの理解から始まりました。事業評価を行政評価基準で決算審査を実施する中で最も重要に感じた点は、自治体事業を評価するのが目的ではないということです。自治体側がどのような軸を持って評価をしたのかという評価軸を明確化させること。また、そのような評価から、市民の声を軸に、議会議員として対策を講じ、いかに事業に取り入れ改善していくのかという目的が認識できました。また、グループごとに分かれたディスカッションも実施しました。テーマは、「議会と行政評価の関係について」を討議内容として、地方議会の標準型をどう作るかという視点をまとめ発表しました。まとめた内容は、住民参加自動評価型と位置付けました。これは評価者である

	自治体職員の事業評価の労力を改善策に移行することが目的です。行政評価をどのようにするのかではなく、評価する軸を市民の声をもとに策定しパラメーターとして見える化にしていくことで、事業ごとの KPI が明確になります。評価する事業は全協などを活用して議員で絞り込み、自動化で評価された内容をもとに、議会議員と執行部側が改善点を含めた討議に労力をかけることに力点を置くように位置付けし、事業の発展につなげてまいりたいことが目的です。一方で課題としては、評価軸について合意形成できるのかどうかという問題があります。総体的に、市民に示すことを前提として、決算に関する指標の理解から影響する点は何か？また評価のポイントから、市民目線で執行部側へ論じて講ずることこそが重要となるのではと考えます。そのために議員力を身につける有意義な研修であり、常にひたむきに学んでいこうと思いました。
--	--